

# 作品紹介 その1

## 🏆 優良賞



『永明寺山にはなぜ古墳があるのか?』  
~この下にも古墳が眠っているかもしれない~』

永明小学校 5年 竹内 優奈さん

自分の住んでいる地域でありながら、友だちにも先生にもあまり知られていない古墳。興味を持っていた「お墓」と「古墳」が繋がり「あれ?」と感じたことを大切に、ていねいに調べています。古い文献(資料)が多く、読み取るのに苦労しながらも、複数の資料を比べたり専門家にお聞きしたりして一つ一つ紐解き自分の足で確かめ、古代の人々に思いを馳せながらまとめることができました。



『「お守り」はどのように生まれ  
伝わってきた?』

長峰中学校 1年 濱 明里さん

学校での土鈴づくりをきっかけに、お守りに興味を持ち、歴史をさかのぼって丁寧に調べています。お守りの起源について、複数の図書館で資料を探し、読み込んでまとめるだけではなく、諏訪大社で取材をしたり、講演会に参加して疑問に思ったことを質問したりしながら、より深く追究することができました。

お守りに込められた歴史や思いが、読む人に伝わるまとめになっています。

🏆 奨励賞



『どうしてにおうの？ ぼくの足』  
宮川小学校 6年 中沢 拓実さん

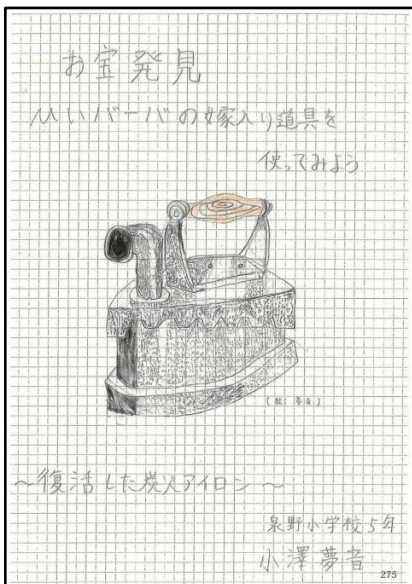
日常の家族との会話の中から生まれた素朴な疑問。自分の「足のにおい」にしっかりと向き合っ、原因を探り解決していく過程がわかりやすくまとめられています。予想をもとに調べるうちに出会った「細菌」。新たな疑問が生まれると何度も図書館に通ったり、お医者さんに話を聞いたりして調べ、アンケートからのおいに対する周囲の意識も考察する等、様々な情報を整理・活用しています。



『阿久のムラにタイムスリップ』  
金沢小学校 6年 北原 陽菜さん

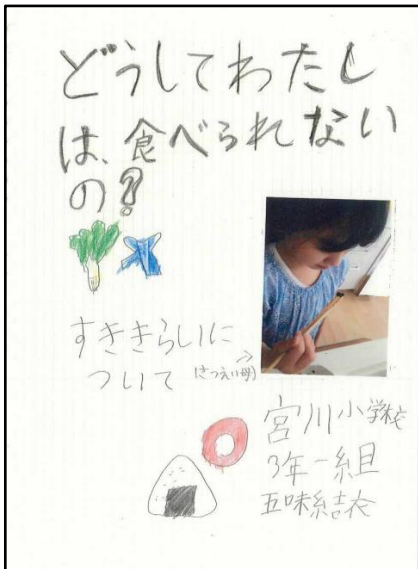
自分の住むこの地域ならではの「お宝」に着目し、自分と家族の予想を比べながら、様々な方法で追求を深めています。

いくつもの資料を読み、近所の畑で発掘し、実際に黒曜石を手にした喜びが伝わってきます。また、専門家に聞いて得た多くの情報を整理して、読む人見る人にわかりやすくまとめました。



『お宝発見  
ひいバーバの嫁入り道具を使ってみよう』  
泉野小学校 5年 小沢 夢音さん

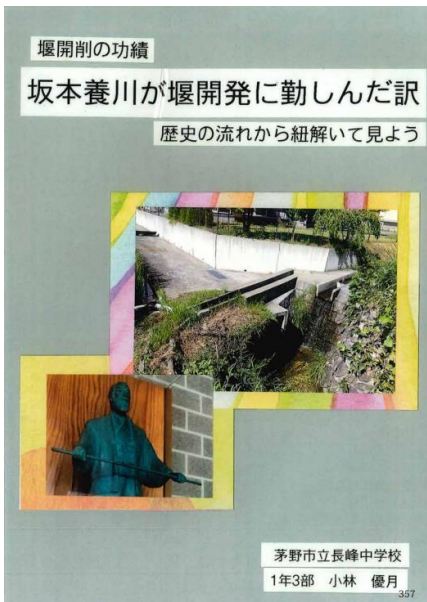
「カタツムリみたい」と見つけた不思議な物。ひいバーバのアイロンであることにおどろき、「アイロン」について知ることからスタート。アイロンの歴史から昔の道具を知り、本当に使えるのかな？と試しています。サビだらけだったアイロンに炭が入り復活。今の便利になった道具と比べながら、資料やひいバーバの話から気づいたアイロンそのものの役割が、よくまとめられています。



## 『どうしてわたしは食べられないの?』

宮川小学校 3年 五味 結衣さん

給食のときに、いつもなやんでいた「好き嫌い」のせつない体けん。きれいだから食べないというのではなく、「どうして?」ときらいな理由を調べて、食べられるようになろうと取り組んでいるところがすてきです。多くの資料を読んだりインタビューしたりする中で知った、好ききらいの理由にはいろいろな要素があることが、アバターを使ってわかりやすくまとめられています。



## 『堰開削の功績』

坂本養川が堰開発に勤しんだ訳

歴史の流れから紐解いて見よう』

長峰中学校 1年 小林 優月さん

自分が住んでいる地域の偉人。改めてその功績を知り、自分は地域でどのように継承していけばいいのかという視点で、郷土資料や新聞、インターネット等、多くの資料を読み込み、ていねいにまとめられています。堰の流れと実際の田んぼの位置とを航空写真を使って確認し、現地へ足を運び、堰の重要性を確かめ、区の学習会を通して自分たちが伝承しようという意欲が伝わってきます。